

研究主題

主体的・協働的な学びを通して、思いや考えを深める児童の育成

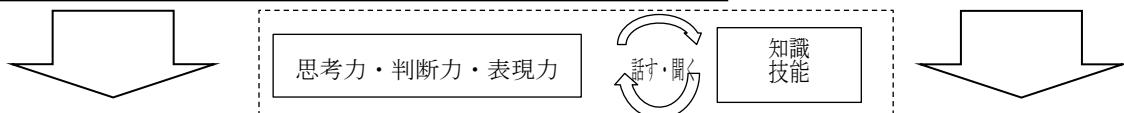
児童の実態

興味関心が高く、意欲的に自分の考えを発言する児童が多い。しかし自分の意見を発言することだけに意識が向き、友達の意見と自分の意見の共通点や相違点を意識して聞いたり、話の中心に気を付け、大切なことは何なのかを捉えたりすることが苦手な児童も多くいる。自分の聞きたいことの中心を捉えたり、話し手が話しやすいように質問をしたりする事が十分にできていない傾向がある。

メモに関しては、話の大変な部分を捉えられず、実生活の中でメモを活かすということは、難しい現状である。

児童に付けたい力（指導事項）

- 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。（ア）
- ◎必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。（エ）



分科会テーマ

自分の考えをもち、相手の意見を受け止め、考えを比べながら話し合う子

テーマに迫るために（年間を通じて意識的に取り組む手立て）

- ・各単元で指導事項を明確化し、その項目を重点的に指導する。また指導事項にふさわしい言語活動を、単元を貫いて位置付けることで、目的をもって話すこと・聞くことの活動に取り組ませている。

	教材名	指導重点事項	言語活動
4月	ばらばら言葉を聞き取ろう	相手を見て、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。	3人～4人のチームで、ばらばらの言葉を伝える工夫を考える。
4月	よりよい話し合いをしよう	互いの考え方の共通点や相違点を考え、役割を果たしながら、進行に沿って話し合う。	学級全体や、グループで話し合って考えをまとめたり、意見を述べあったりする。
9月	だれもが関わり合えるように (資料)手と心で読む発表の仕方	話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり、感想を述べたりする。	関心のあることなどから話題を決め、必要なことについて調べ要点をメモする。
1月	聞いてみよう五年生のこと	自分の聞きたいことの中心を明確にし、相手に質問をする。	5年生の行事などについて、質問をし、メモをもとに聞いたことを伝える。

日常活動の取組として

- ・朝の会の日直のスピーチ
- ・国語の学習の中だけでなく、他教科でも交流を取り入れる
- ・ミニミニディベート
- ・インタビューラリー

第4学年 国語科学習指導案

日時 令和2年1月22日(水)第5校時

対象 第4学年2組29名

授業者 氏名 渡辺 志穂

1 単元名

「聞いてみよう 5年生のこと」

2 単元の目標

- ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。（知識・技能）
- ・必要なことを記録したり、質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや、自分の聞きたいことの中心を捉えている。（思考・判断・表現）
- ・積極的に必要なことを記録したり、質問したりしながら聞き、学習議題に沿って工夫してメモをとったり、それをもとに発表したりしようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

3 単元の評価規準と学習活動に即した具体的な評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none">○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。○必要な語句などの書き留め方を理解し、使っている。	<ul style="list-style-type: none">○必要なことを記録したり、質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや、自分の聞きたいことの中心を捉えている。	<ul style="list-style-type: none">○積極的に必要なことを記録したり、質問したりしながら聞き、学習議題に沿って工夫してメモをとったり、それをもとに発表したりしようとしている。○積極的に聞いてみたいことについて考えている。
学習活動に即した具体的な評価規準	<ul style="list-style-type: none">① 相手を見て話したり聞いたりすることができる。② 比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し、使っている。③ 自分の目的と照らし、自分にとって大切な情報は何かを考えながら聞くことができる。	<ul style="list-style-type: none">① 自分の聞きたいことを明確にして聞き、話し手が伝えたいことを捉えている。② 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、自分にとって大切なことは何かを捉えている。	<ul style="list-style-type: none">① 積極的に聞いてみたいことについて考えている。② 積極的に必要なことを質問したり記録したりしながら聞き、学習課題に沿って工夫してメモを取っている。③ 対話を通じて、自分たちが実感したこと次の学習で活かしている。

4 単元構想

(1) 児童について(児童観)

グループやペアで話し合う活動を国語だけでなく学習の中で多く取り入れている。また、ビブリオバトルを行うなどスピーチ活動も行ってきた。そのため、話す活動に慣れている児童が多い。ただ、自分の言いたいことを言うだけ、相手の話していることを聞くだけになっている姿もまだ見られる。

教師が話す時には、基本的な聞く態度が身についている。3年生の学習で、聞く態度として「うめらいス（うなずく、見て、ラストまで、一生懸命、スマイルで）」を合言葉として取り上げた。(NHK for school「お伝と伝じろう」より) この合言葉を意識して、児童も取り組んでいる。しかし、一斉指導で、必要なことを聞き漏らす児童がいる。多くの情報を処理しきれないと考えられる。そのため、一斉指導の際には3つほどの情報に絞り、復唱するなどして確認する場を設けている。聞くワークテストでは、丁寧に書こうとしすぎてメモを取りきれていない児童や、メモが乱雑で後から読み返しづらくなっている児童などが見られる。そのため、設問に正しく答えられない児童がいる。テスト後には「メモがうまく取れなかった」などの感想を言う姿が見られた。

(2) 話題について(学習材観)

教科書では、「委員会の説明を聞き、学級新聞にまとめる」という目的で、メモの取り方を工夫することを指導する教材となっている。しかし聞き取ってメモをするという活動を行う前に、自分の目的と照らし、自分にとって大切な情報は何かを考えながら聞けるようにすることが大切だと考えた。そのため、詳しく聞くためにはどのように聞けばよいのか友達との対話の中で気づかせたり、聞きたいことを自分たちで決め、明確にしてから聞き取ったりする活動を行うなど、対話の中で自分の知りたいことをより深く知ることができるよう、聞くことに重点を置いて指導していく。

また今の時期、児童は5年生になることへの期待感でいっぱいであるため、聞くことを委員会の仕事だけに限定するのではなく、児童からの意見を取り入れ、5年生での行事や新しく学ぶ教科などに選択肢を広げ「聞きたい！」と児童が思い、主体的に取り組めるような教材となっている。

(3) 単元について(単元観)

本単元は、「話すこと・聞くこと」の領域の中でも、特に「聞くこと」に焦点を当てたものである。「話の中心に気を付けて聞く」という指導事項は、中学年に求められる重要な聞く能力である。この単元では、集中して聞く力、自分に役立つ情報を選択する力、事柄を簡潔にまとめる力などの能力を培うことができる。

「話の中心に気を付けて聞く」ために、友達との対話の時間をしっかりと確保し、聞くために大切なことは何かを、「聞き方の極意」としてまとめ、クラス全体で共有できるようにした。対話を通して、自分たちが実感したことを次の学習で活かせる単元計画となっている。

5 研究主題に迫るために

1, 主体的に取り組むための単元工夫

○児童が「聞きたい」！と思う課題設定

来年度5年生に進級することに、児童は期待感をもっている。しかしそのような学習や活動をするのかは、分からぬことが多い。そのため、児童が主体的に自分の聞きたいことを聞けるよう、5年生に聞きたいことはどんなことかを児童に考えさせ、それぞれ課題を設定させた。また5年生に聞いたことをクラスの友達に伝えるという場面によって、聞き手主体の学習活動が成立している。

本時の友達に聞きたいことについても、児童の意見からテーマを設定し、「聞きたい！」という気持ちを大切にして主体的に取り組めるものになっている。

○スマールステップを踏んだ単元計画

一時間に多くのことを詰め込むのではなく、テーマをしぶり学習を進めていくような単元計画となっている。一時間ごとに、「テーマを決める」、「対話をして聞く時に大切な事を確認する」、「メモの工夫を考える」、「発表を聞く」というように一つ一つしっかりと時間をとり、指導を行っていく。スマールステップを踏むことで、国語に苦手意識をもっている児童も安心して取り組むことができる。

2, 対話力を高めるための工夫

○学習したことを活かせる活動

対話の時間をしっかりと確保し、児童が実感したことを共有していく。児童の意見から良い聞き方を、「態度面」「質問の仕方」に分けて整理し、クラス全体で「聞き方の極意」として共有していく。共有したことを踏まえ、もう一度クラスの友達と対話をを行う。

またメモを取る学習では、メモの工夫を考え、その工夫を活かし、もう一度メモを取るというように、繰り返し活動を行い、学習したことすぐに活かせる工夫をしている。

5年生に聞きに行く時に、「聞き方の極意」「メモの取り方」を活かし活動を行っていく。

○他教科での対話の時間

友達の考えに触れ、考えを深めたり広げたり、まとめたりする時間を大切にしていくために、国語の授業に限らず、他教科でも対話の時間を取り入れてきた。そういった時間をいろいろな教科で設定することで、対話の面白さや良さに気付き、対話の力が高まると考えた。

○グルーピングの工夫

教師が意図的にグループを設定する。なかなか意見が出せない児童、意見を伝えることが得意な児童など、バランスを見ながらグルーピングをする。意図的にグルーピングすることにより、話し合いが活発になるとともに、いろいろな意見に気付くことができると考えた。

6 単元計画

過程 (次)	時	学習活動	指導事項	◆評価規準 ★評価方法
1	1	○学習目標を知り、学習の見通しをもつ。 ○5年生に聞いてみたいことを考える。 ○聞くためにどんな学習課題があるか考える。	・児童が5年生に聞いてみたいことを考える。 ・聞くための学習課題を整理し、共有する。	◆【主】 積極的に聞いてみたいことについて考えている。 ★観察・ノート
	2 本時	○テーマについて友達の話を聞き、質問する。 ○聞く時の大したことについて意見を出し合う。 ○もう一度、テーマについて友達の話を聞き、質問する。	・詳しく聞けた聞き方を「態度」「質問の仕方」に分けて整理する。 ・みんなでまとめた詳しく聞けた聞き方を生かすよう声をかける。	◆【知】 相手を見て聞いている。 ★観察 ◆【思】 必要なことを質問しながら聞き、自分が聞きたいことの中心を捉えている。 ★活動・ノート
	3	○メモを取りながら話を聞く時に大切なことを考える。 ○聞き取りメモをもとに話の内容をグループの友達に伝える。 ○目的に合ったメモの取り方について考える。	・大事なことを落とさずに聞くための工夫をまとめる。 ・グループの発表から、記号や線を用いたり、箇条書きにしたりするなどのメモの工夫をまとめる。	◆【知】 比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し、使っている。 ◆【思】 必要なことを記録しながら聞き、話して伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えている。 ★活動・ノート
	4	○テーマごとにグループに分かれ、どんな内容を聞いてくるか考える。	・グループ活動を通して、自分たちの聞きたいことをはっきりさせる。	◆【主】 積極的に聞いてみたいことについて考えている。 ★観察・ノート
	5	○5年生に話を聞きに行く。 ○今までの学習を生かして、記録したり必要な質問をしたりしながら聞く。 ○メモをもとに、グループで互いに聞いてきたことを伝え合う。	・取材の前に、前時までの学習を振り返る。	◆【主】 積極的に必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、学習課題に沿って工夫してメモを取っている。 ★活動・ノート ◆【技】 比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。
	6	○聞いてきたことについてメモをもとに、学級で発表し合う。 ○発表を聞いた感想を発表する。 ○単元の学習について振り返る。	・メモを見て大切な事を伝える。	◆【主】 学習課題に沿って、メモをもとに発表したりしようとしている。 ★活動・ノート ◆【思】 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えている。 ★活動・ノート

7 本時の学習

(1) 本時のねらい

自分の聞きたいことを詳しく聞くために、どんな聞き方をするといいか考える。

(2) 本時の展開

学習活動 (どんな活動をするのか)	○指導上の留意点	◆評価規準 ★評価方法
1 めあての確認をする。	○学習の流れを確認する。 ○詳しく聞くための聞き方を「4年2組聞き方の極意」にまとめることを伝える。	
自分の聞きたいことをくわしく聞くために、どんな聞き方をするといいか、考えよう。		
2 テーマについて話したり、質問をしたりをする。(ペア活動) 1回目：話しタイム→聞きタイム (3分間) 2回目：話しタイム→聞きタイム (3分間)	○「聞き手が聞きたいテーマについて尋ねる。」「話しタイムはテーマについて話し手だけが話す。」「聞きタイムは聞き手がテーマについて質問する。」という流れを確認する。	◆ 相手を見て話したり、聞いたりしている。【技能】 ★活動・ノート
3 「くわしく聞くための聞き方(聞き方の極意)」を考える。 (個人→班) ・話し合ったことをホワイトボードに書く。	○聞きタイムを振り返り、「くわしく聞けた聞き方」について話し合うよう伝える。	
4 「くわしく聞くための聞き方(聞き方の極意)」について話をすることを発表する。 ・ホワイトボードに書いたことをもとに発表する。 ・発表を聞き、自分が次の聞きタイムで取り組みたい質問の仕方を決める。	○よい聞き方を「態度面」と「質問の仕方」に分けて整理し、学級全体で共有する。 「態度面」…うなずく、相づちをする、相手を見る、笑顔で聞く、最後まで聞く 「質問の仕方」…話題からそれない質問をする、分からなかったことを質問する、	◆ 自分の聞きたいことを詳しく聞くために、どんな聞き方をするとといいか考えている【思・判・表】 ★活動・ノート
5 テーマについて話したり、質問をしたりをする。(トリオ活動)		
6 学習を振り返る。 ・ノートに学習の振り返りを書く。	○変化のあった児童には、どうして変わったのかを振り返りで書くよう伝える。 ○振り返りを発表する時間を設けて、学級で児童の振り返りを共有する。 ○児童の言葉から学習で大事なことをまとめる。	